

小水力発電施設設置の可能性調査結果

(平成 26 年 2 月 28 日時点)

No.	所在地 (設置場所は 別添参照)	河川名	流量 (m ³ /s)	落差 (m)	小水力発電を導入した場合のシミュレーション							
					水利権の実態			最大出力 (kW)	年間発電 電力量 (kWh)	1kWh 建設単価 (円/kWh)	発電単価 (円/kWh)	現地の状況
					水利権者	地元の主な意見	慣行水利権 の届出					
1	鳥栖市山浦町	一級河川 筑後川水系 安良川	0.30	3.9	牛原生産 組合	社会情勢に変化が あれば考えたい	あり	4.8	32,600	595	38.4	周辺に住戸あり
2	神崎市神埼町城原	一級河川 筑後川水系 城原川	0.30	4.0	朝日生産 組合	身近な存在にしたい	なし	4.9	42,900	490	31.6	仁比山公園内にあり、市民の 水遊びスポットとなっている。
3	嬉野市塩田町 五町田	二級河川 塩田川水系 塩田川	0.20	2.0	鹿島市土地 改良区	状況により設置の 検討を行いたい	あり	3.2	21,500	2,405	155.1	-
4	唐津市厳木町厳木	一級河川 松浦川水系 厳木川	0.48	----	厳木生産 組合	具体的な話があれ ば協力したい	あり	1.9	11,000	700	45.1	・厳木中学校裏 ・風水害期の対策も必要
5	"	"	0.45	1.5	"	"	あり	2.7	18,000	744	48.0	・周辺に竹林、雑草地あり ・周辺に水門があり、ゴミが流れ 込まない形状となっている。
6	唐津市相知町町切	"	0.20	2.0	町切地区、 楠地区、 田頭地区、 湯谷地区 の4地区 で管理	大いに興味がある	あり	1.6	10,700	1,626	104.9	・水と出逢う町おうちとして、町切 水車をかんがい用水車として活 用するなど地域が熱心に取り組 んでいる歴史がある。 ・風水害期の対策が必要である が、過去の災害体験を教訓とし て取り組まれている。
7	"	"	0.50	1.2		"	あり	2.4	21,000	524	33.8	
8	"	"	0.25	0.7		"	あり	0.42	6,300	1,190	76.8	

【用語の説明】

流 量 (m ³ /s)	川を流れる水の量。1秒間に流れる水の体積(量)。
落 差 (m)	流れ落ちる水の高低差。
最 大 出 力 (kW)	発電できる最大の出力。流量と落差と発電効率(水から得られるエネルギーのうち、電気エネルギーに変換できる割合)から求められる発電の出力。
年間発電電力量 (kWh)	1年間で発電可能と予想される電力量。
建 設 単 価 (円/kWh)	事業の経済性を判断する手法の一つで、1kWhあたりの建設費用。発電施設の総事業費(工事費+水車・発電機の費用:円)÷年間発電電力量(kWh)で求められる。
発 電 単 価 (円/kWh)	事業の経済性を判断する手法の一つで、1kWhの発電にかかる費用。 発電にかかる費用(総事業費を20年間(売電期間)で返済するとしたときにかかる費用(利率2%を含む) + 発電施設の管理・整備にかかる費用:円)÷20年間の総発電電力量(kWh)で求められる。